

【執筆者情報】

倉成 多郎（くらなり たろう）

那覇市立壺屋焼物博物館 主任学芸員

拙文中でも紹介した佐藤孝氏は、もともとPOLAの研究員で香料のスペシャリストだった。そこから丁子と丁子風炉に興味を持たれ調査を進めている。拙文では丁子風炉を通して琉球王国の文化的独自性が示せたかと思う。次は、琉球への室町期の儀礼の伝播とその古様が国内には温存される点を茶道儀礼も併せて論ずることを課題としたい。

吉田 健太（よしだ けんた）

那覇市市民文化部文化財課埋蔵文化財グループ 主任学芸員

本誌前号に引き続き、今回は壺屋古窯群・ニシヌ窯跡出土の瓶・徳利の詳細報告を致しました。今後も引き続き、整理できた器種を順次報告していく予定です。

伊集 守道（いじゅ もりみち）

那覇市歴史博物館 主任学芸員

山川瓦窯が地元の拝所として大事にされていることを調査して初めて知りました。多くの方々のご協力を得てようやく公表にたどりつき、今は安堵しております。

大城 直也（おおしろ なおや）

那覇市歴史博物館 会計年度任用職員 歴史資料整理員

本稿を作成するにあたっては、鈴木悠氏・田口恵氏より多くのご教示を得た。ここに記して感謝申し上げます。

山田 葉子（やまだ ようこ）

那覇市歴史博物館 会計年度任用職員 主任学芸員

那覇市歴史博物館所蔵「国宝 琉球国王尚家関係資料」から『御絵図』について、今号では7冊ある御絵図帳の5冊目にあたる文書番号No.8に掲載された71点を報告しました。未報告の残り2冊についても引き続き報告していきたいと考えています。

伊良波 賢弥（いらは けんや）

那覇市市民文化部文化財課文化財グループ 会計年度任用職員 文化財保護専任主事

鈴木悠さんから末吉のイーの存在を教えていただき、河川の歴史に興味を抱くことができました。往時の写真に接して、琉球の土木技術の高さに改めて気づかされました。